

座談会 警察官の職務と使命



警 察官の輩出でも実績のある名城大学法学部。現在も多くの学生が警察官を目指して学んでいます。そこで、卒業後に警察官として活躍する先輩たちを招いて、その仕事の魅力や学生生活へのアドバイスなどを伺いました。



伊川 正樹 教授
法学部懇談会会長
法学部長・教授



田村 千晶 さん
平成 30 年卒 法学部 OG
愛知県警中川警察署勤務



猪飼 崇泰 さん
平成 24 年卒 法学部 OB
愛知県警西尾警察署勤務

警察官を目指したきっかけは？

伊 川 現職の警察官のお二人に来ていただいたので、いろいろ伺っていきたいと思います。まず、自己紹介からお願いできますか。

猪 飼 平成 24 年に法学部を卒業し、まず名古屋市内の警察署の地域課で交番勤務を 3 年、中部管区機動隊で 3 年、その後、刑事課に配属になって現在に至ります。今は刑事課の盗犯係として、空き巣や万引きといった窃盗事件を中心とした捜査を担当しています。

田 村 私は平成 30 年に卒業しました。「警察官になりたい」という小学生の頃からの夢を叶えるため、公務員講座があり警察官になる方が多い名城大学を志望しました。大学卒業後に警察官として採用され、警察学校で半年学び、今は中川警察署地域課の交番に勤務して 3 年目になります。仕事内容は、すべての捜査の始まりとなる初動捜査を担い、事故でも事件でも最初に現場に急行するため、警察官の中で最も地域の方と接する仕事をしていると思っています。

伊 川 なぜ警察官を目指そうと思ったのですか。

猪 飼 実は中学生のときに同級生の女の子がひったくりに遭うのを目撃し、犯人を追い掛けたのですが、結局捕まえられなかったことがあります。同級生の悲しむ姿が辛く、犯人を捕まえられなかった悔しさもあり、こうした被害者を一人でもなくしたい、犯人を捕まえたいという気持ちから警察官になることを決意しました。

田 村 私は刑事ドラマを祖母と一緒に見ていて、漠然と優しいお巡りさんになりたいなと思っていました。小学5年生のときに祖父が持ってきた愛知県警のパンフレットを見て、「警察官になりたい」という目標が明確になりました。

伊 川 警察官という職業を選択された際、ご家族はどんな反応でしたか。

田 村 身内に警察官はおらず、私が初めて警察官を目指したんですが、家族は、「頑張って」とすごく応援してくれました。また、弟も名城大学の経営学部を卒業し、警察官になりました。弟にも勧めるほど、家族みんなでいい仕事だと思っています。

猪 飼 家族からはすごく心配されました。小さい頃から正義感は強かったのですが、性格が猪突猛進なので「大丈夫?」「無理しないでね」と、警察官になる前も、なった後も言われました。この10年、応援はしてくれていますが、常に心配はしていると思います。



警察官の仕事のやりがいとは

伊 川 仕事の喜びややりがいをどんなところに感じますか。

猪 飼 住民の方から「警察官にはあまりいいイメージはなかったけど、傘1本のために捜査をして取り戻してくれたことは一生忘れられません」と言われたことが心に深く残っています。これは私が警察署の当直のときに、お母さんからもらった大事な傘を盗まれたという女性から被害の届出があり、その後の捜査で、付近の防犯カメラの映像から犯人を見つけ、女性に傘を返すことができたときにいただいた言葉です。警察官は交通取締まりなど嫌われる仕事も多いのですが、活動を一つ一つ積み重ねていけば、小さなことでも警察官への信頼に結びついていくのだと確信しました。

伊 川 どこまで心を尽くしてやるかは人それぞれだと思いますが、大変なことですね。田村さんはいかがですか。

田 村 日常的なことですが、立番（りつばん）といって交番前や交差点に制服姿で立ち、「事故に気をつけて」と声をかける仕事があります。そのときにいろいろな方から「お疲れさま」「頑張ってるね」と言われるとうれしいですね。地域のボランティアの方々と一緒に、パトロールするときも「来てくれてありがとう」と声をかけてくださいます。私が女性警察官で話しやすいのか、特に高齢の方が声をかけてくださり、地域の方と接している喜びを感じます。制服姿を見せることで事故や犯罪の抑止につながるのは、交番の警察官にしかできない仕事だと思っています。

猪 飼 交番勤務で苦い思い出として残っていることがあります。それは、私が担当する交番の地域で空き巣が連続発生した時のことです。

警察官になって1年目、私が被害現場で見分をしているときに車で通りがかった不審者に声をかけました。そのときは職務質問の方法などもわからないまま声かけだけで終わってしまいました。すると後日、その不審者

が犯人として捕まりました。もし私がそのときに犯人を厳しく追及できていれば、その場で捕まえることができたかもしれず、本当に未熟だなと痛感しました。

伊 川 そんな経験をされたのですね。そのほかに、これは大変だった、辛かったという思い出がありますか。

猪 飼 中部管区機動隊員のときに、東日本大震災の関係で東北に何ヶ月か出動しました。現地の風景はテレビの映像とは全く違い、臭いも含めて本当にこれが現実なのかと思えるほど悲惨で、自然に対して私は何もできないという現実を突きつけられました。言葉で言うのは簡単ですが、現地での勤務を経験して、「実際に人を助けること」、「人の役に立つこと」がいかに難しいかを実感しました。やはり、困っている人に寄り添う方法は100人いたら100通りあります。だからこそ、その人が何を求めているかを感じながら仕事をしないと、形式的に仕事が進んでいってしまいます。そのため、日々、この人のために何ができるかを考えようと心掛けています。ですから「大変だ」「きつかった」というのは、思わないようにしていますね。

伊 川 学生が進路を考えるときに「人の役に立つ仕事がしたい」と言いますが、それぞれの状況や求めるものが違うので大変に難しい。それでもやり続ける初志貫徹が大事なのですね。

田 村 女性警察官ならではの難しさは多々あります。もめ事事案などの対応時、体力面で男性に後れを取ってしまうこともあるので、普段から常に強い気概を持ち、同僚警察官との意思疎通や連携を図るようにしています。

一方、女性ということで被害者が心を許して話してくれるメリットもあります。痴漢被害に遭った女性の場合、恥ずかしさもあって男性警察官には被害状況などを話せず、事情聴取が進まないことがあります。そんな時に女性の私が話を聞くと答えてくれて、実際にどんなふうだったのかを再現できるまでになりました。被害者の方の心を和らげることができたのかな、と思いました。



伊 川 市民の方や被害者の方の話を聞く際に心掛けていることはありますか。

猪 飼 被害者と接するときは寄り添うことを大切に、警察に来て良かったと思っていただけるような対応を心掛けています。例えば被害者に、「今はこういう捜査をしていて、まだ犯人が捕まっていません」と捜査の進捗状況を連絡するなど、被害者の気持ちを考えた対応を大切にしています。

田 村 やはり年上の方と接することが多いので、どんな人にも丁寧な対応を心掛けています。また、2人1組で現場に行く際は、一緒に行く男性警察官が嫌われる役、女性の私は好かれる役と役割を分けて、対応に強弱をつけることにより、素早い解決につながるがあります。その点、女性ならではの柔らかい対応が功を奏し、事案が早期に解決することがあります。

伊 川 女性の警察官はどれぐらいいらっしゃるのですか。

田 村 警察官全体の約10%が女性警察官で、その割合は、年々増えています。

伊 川 今、ジェンダーの問題が注目され、女性の社会的地位が改めて認識されるようになりましたが、警察の世界でも女性が活躍できる場は徐々に広がりつつあるのですね。では、被疑者に接するときに心掛けていることはありますか。

猪 飼 取調べの際、身なりを整えるなど、「この警

察官には嘘はつけない」という雰囲気を醸し出す努力はしています。いろいろな質問をして、答え方や手の動き、目の動きなどを見て、相手の考えていることを想像しながら接しています。

学生時代に力を入れてきたこと、 やっておくべきことは？

伊 川 学生時代に力を入れてきたことはありますか？

田 村 勉強はもちろんですが、アパレルショップのアルバイトに打ち込んでいました。非常に厳しい職場で、お客さんからクレームを言われることも多く、それまで私が守られた環境で育ってきたということがよくわかりました。メンタル面で成長できたと思っています。他に塾講師として子どもとふれあう中で、どうすれば話をしてくれるか、勉強をしてくれるかを考えたり、警察官の試験勉強も兼ねて中学生と一緒に勉強したりと、充実した時間を過ごすことができました。

猪 飼 私はアルバイトも部活も友人との遊びでも、興味を持ったことにはできる限りチャレンジしてきました。例えば、授業が終わってから「銭湯へ行こう」「じゃあ、下呂まで行こう」と行動範囲を広げていったことで、いろいろな人に出会い、さまざまな考え方が身についたと思います。

伊 川 そうした学生時代での経験が今の仕事には活かされていますか。

猪 飼 警察官は、企業の幹部の方、生活するのがやっとな方、外国籍の方などいろいろな人と接する機会が多いです。そして、警察の仕事は、まず相手を受け入れることからスタートします。そうしなければ相手の気持ちはわかりません。犯人だろうが被害者だろうが、相手のことを受け入れなければ相手の気持ちはわからない。だからこそ学生時代は自分の興味がないことにも目を向け、性格的に合わない人でも、年上でも年下でも可能な限りいろいろな人と接して多様な考えに共感できるよ

うな姿勢を持っていた方がいい。自由に時間を使える学生時代こそ、多くのことにチャレンジしてたくさん失敗した方がいいと思いますね。



伊 川 お二人とも多様な経験と出会いの中で学んできたことが今につながっているのですね。では、学生時代にもっとやっておけば、と思うことはありますか。

田 村 今、昇任試験に向けて勉強中なんですけど、やはり刑法や、刑事訴訟法などの法学の知識は非常に重要です。卒業後も警察学校で学びますし、昇任試験でも同じ分野の知識が求められるので、もっとしっかり深く学んでおけば苦労しなかったのと思っています。

猪 飼 私も田村さんと同じです。学生時代は最前列で講義を受けている人は数人でした。私も警察官になりたいという目標は持っていたものの、「警察官になるために何をしなければいけないか」を考えて講義を受けていたかというと、さほど思っていなかったのかもしれませんが。今振り返ると、もう少し大学に行っている意味を考えていたらよかったのと思っています。

伊 川 やはり大学時代に実社会で何が必要かを感じ、自分が勉強していることの意味がわかっているとだいぶ違うのでしょうか。そういう意味では、今の学生はいろいろなインターシップの機会を盛んに活用しています。お二人は学生時代に就職活動はされましたか。

田村 インターンシップは経験していませんが、警察だけでなく企業がどんなことをやっているのかは調べていました。積極的に説明会に参加したり、OGの方などにお話を聞いたり、ゼミが一緒の方などに「こうした方がいいよ」とアドバイスをもらったりしていました。

猪飼 私も就職活動を経験して民間企業に内定をもらい、実際に研修期間も含めて数ヶ月間働いていた時期がありました。また、警察の説明会は行けるときには全て参加し、いろいろな人の話を聞くようにしていました。



採用試験の勉強について

伊川 警察官採用試験の勉強についてお聞きしたいと思います。田村さんはキャリアセンターの方に相談して、エクステンション講座などを利用されていたそうですね。

田村 はい。名城大学のエクステンション講座は絶対受講した方がいいと思います。エクステンションでは事務の方も親身になってお話を聞いてくださりますし、先生もわからないことがあったら最後まで残って教えてくださり、本当にありがたかったです。キャリアセンターの方も毎日のように面接の練習に付き合ってくださいって、それがなかったら合格できなかったのではないかと、というぐらいお世話になりました。

猪飼 私もそうです。勉強の進み具合や取り組み方は人それぞれですが、エクステンションでは友人もできましたし、職員の方がとても親切で勉強以外の面でも悩みを聞いてくれたこともあり、今でもとても感謝しています。

ゼミについて

伊川 今の法学部の仕組みだと、ゼミは卒業に必ずしも必要な単位ではないのですが、お二人ともゼミに所属していらっしゃいましたね。先輩として後輩にゼミをすすめますか。

猪飼 私は憲法ゼミに所属していましたが、絶対に参加した方がいいです。ゼミは興味のある分野に対して、とことんみんなで話し合って理解を深められる唯一の場であると思います。そして、網中先生に教えてもらってとても良かったと思っています。

田村 私は刑事訴訟法のゼミで学びました。警察官になった人が多いという話を聞いて選んだのですが、実際、ゼミメンバーには警察官志望の人が多く、同じ目標に向かって話ができるのが励みとなりました。ゼミの内容も将来に直結し、とても役に立つものでした。

在学生へのアドバイス

伊川 名城大学出身の警察官の方で、共通する特徴はありますか。

猪飼 周りには名城大学出身の警察官が多いのですが、どなたも真面目で誠実な印象です。出身大学を聞いて仲良くなることもあるので、私は名城大学に進んで良かったなと思いますね。

田村 私の同期にも名城大学出身の人が多くですよ。皆さん「やることはきちんとやる」という一方で「楽しむところは楽しむ」という、メリハリのつけ方が上手な人が多いように思います。

伊川 警察官としてお仕事をされているわけですが、それ以外の仕事をされている方や同級生

と、ものの見方や感じ方が違うと感じるところはありますか。

猪 飼 やはり法令遵守の部分で少し敏感になってしまいますね。車の運転にしる普段から「まあいいや」ということが許されませんから。同世代と話していてもつい真面目なことを言って、性格がさらに真面目に…（笑）。



田 村 やはり同世代と感覚が違うと感じることはあります。SNSなどもあまりやりませんし、真面目な話になってしまうので冗談が通じないときもたまにありますね。

伊 川 警察官の立場から大学生に「こんなことに気をつけて」と、助言することはありますか。

田 村 SNSはやはり気をつけた方がいいと思います。知らないうちに犯罪に巻き込まれていることも多々あります。発信も注意が必要ですが、Instagramやツイッターから情報などを得るときも、情報が全部本当というわけではありませんので、そこも気をつけていただきたいですね。

猪 飼 情報は、それが本当に正しいかどうかを自分でちゃんと確認した方がいいです。おいしい話、簡単に儲かる話には絶対に裏があるので、「友達がやっているからいいや」、「何とかなる」という考えは一切持たないでほしいと思います。学生でも絶対にやってはいけないことがありますので、そこを間違えてしまうと人生が大きく狂ってしまいます。怪しい情報もSNSで拡散される時代、本当に気をつけてください。

伊 川 では、最後にこれから警察官を目指す学生に対してメッセージをお願いします。

猪 飼 警察官として仕事をしていると、いろいろなことを経験し、犯人と対峙した時には、身の危険を感じたこともあります。ですが、決して一人で対応するわけではなく、警察組織の仲間と協力して対応に当たります。さらに、警察学校や警察署では様々な対応ができるように手厚い訓練がありますので心配しないでください。また、警察官になるにしる他の職業に就くにしろ、現在地で立ち止まることなく志は高く持って、さらに上を目指してもらいたいと思います。

田 村 警察官という職業は堅くて厳しく、仕事は忙しいイメージがあると思いますが、素晴らしいイメージがあると思います。素晴らしい方が多く、女性が結婚して子どもを生んでも続けられる仕事です。今はワーク・ライフ・バランスの観点から休みの取得を後押しする施策が推進されていますし、昇任についても学歴や性別に関係なく努力次第で、上位の階級になれますので安心してください。

伊 川 本日は、警察官はもちろん、どの職業を目指す学生にとっても有益なメッセージをいただきました。ありがとうございました。